

# DEBUT 首長

東京都新宿区長 吉住 健一氏



よしずみ・けんいち 1972年東京都新宿区生まれ。96年日本大学法学部卒。地元選出の衆院議員・与謝野馨氏の秘書を8年間務めた後、2003年4月新宿区議に初当選。09年7月東京都議に初当選。13年6月に再選を果たした後、14年11月に新宿区長に初当選。趣味はスポーツ、みこし、餅つき、読書など。

## 耐震化助成、所得制限を撤廃 空き家は除去より管理改善で

**新宿区** 東京都に23ある特別区の1つで、23区のほぼ中央に位置する。世界有数の繁華街・歌舞伎町や乗降客数日本一の新宿駅を抱え、知名度は抜群。人口は約32万8000人。そのうちの1割強が外国人で、都内で最も外国人住民が多い。単身者世帯数の割合も最多。

### ——区政運営の基本方針は。

新宿は歴史と伝統、地場産業のあるまちで、繁華街もあり、住宅地もビジネス街も森もある。多様な顔を持つ新宿の各地域の特性を伸ばし、いかしていくのが私の区政の使命だ。

区内人口は2030年頃から減り、60年には現在の水準に戻る。新宿の特徴・特性を伸ばすことで愛着と誇りを持ってもらい、定住人口を増やしたい。

### ——安倍政権が重要課題に掲げる地方創生への対応は。

地方創生は各地域をいかに活性化するかであり、私はこの4年間の緊急対策として「防災・防犯対策の強化」と並んで「にぎわいの創造」を優先順位の高い政策に掲げている。国からの地方創生のための交付金は、商店街の振興につながるスクラッチくじ、区内の飲食店で使える割引飲食券、外国人観光客誘致

のための町や文化を紹介するプロモーションDVDに充てる。

### ——首都直下地震の備えは。

木造住宅密集地域の解消に向けて、東京都の不燃化推進特定整備事業（不燃化特区）を積極的に活用する。再開発事業や中規模の共同化による木密解消に加え、住民と連携して地区計画を策定する中で新たな防火規制やルール作りを進めていく。

住宅・建物の耐震化も従来通り進める。無料耐震診断、補強設計助成、耐震工事助成などを継続するとともに、15年度からは特定緊急輸送道路の沿道建築物の耐震改修工事に対する助成の所得制限を撤廃する。地震時に沿道建築物が倒壊して幹線道路を塞ぐのを防ぐ措置だが、これまでは世帯全員の所得合計額が800万円以内という制限があり、耐震工事助成を申し込んでも対象外となることもあったので、それを是正する。

### ——都心でも空き家問題が深刻化しつつあるが、対策は。

長年管理されない空き家は、持ち主がどこにいるか分からないという問題がある。国の法改

正によってこの4月からは、首長が当該家屋の固定資産税の情報開示を求めた場合、誰が同税を納めているか開示されるようになった。これで持ち主や管理者を特定し、管理改善や撤去等の対策を直接求めることができる。管理不全は防災・防犯上問題であり、今後、この税情報の開示制度を積極的に活用し、除却よりも管理改善を求めていく。

### ——区議、都議の経験を踏まえ、昨年来の政務活動費を巡る不祥事をどう見るか。

一部の地方議会で起きていることは信じられない。説明のつかない支出は当然問題外だが、私の議員時代の経験では1円単位で領収書を添付し、用途はもちろん効果や結果を報告し、監査を受けた後、2カ月後に後払いで支給を受けていた。不正利用する気になどならないし、起こり得ない。

（聞き手は

主任研究員 中川内 克行）